

記入例

技術者の専任を要する工事の兼任届

〇〇年 6 月 1 日

（あて先）京田辺市公営企業管理者職務代理者

上下水道部長 〇〇 〇〇

受注者 住 所 京田辺市田辺〇〇番地

商号又は名称 ××建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 □□□□ 印

次のとおり、技術者の専任を要する工事における主任技術者及び現場代理人を他の近接関連工事と兼任させたいので、届け出ます。

1 契約工事（今回契約する工事）

主任技術者	大住 一郎	現場代理人	大住 一郎
工事担当課	△△△△課	監督職員	□□ □□
工事番号及び工事名	1－〇〇K 〇〇公園造成工事		
工事場所	京田辺市 東 地内		
工 期	〇〇年 6 月 2 日から〇〇年 1 2 月 1 0 日まで		
請 負 代 金 額	2 8 , 0 8 0 , 0 0 0 円		

2 兼任となる他の近接関連工事（契約済みの工事）

発 注 機 関 名	京都府山城北土木事務所	工事担当課	△△△△室
監 督 職 員	□□□□	連 絡 先	〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇
工事番号及び工事名	山北〇〇□□□第〇号の〇 □□□□川河川改修工事		
工 事 場 所	京田辺市 興戸 地内		
工 期	〇〇年 5 月 1 2 日から〇〇年 3 月 1 0 日まで		
請 負 代 金 額	2 9 , 1 6 0 , 0 0 0 円		
兼 任 条 件 1 （該当に○をし、 関連内容を記入）	ア 工作物に一体性又は連続性がある。 （内容： イ 施工にあたり相互に調整を要する。 （内容：発生土の工事間流用、工事用道路を共有） （注）兼任条件 1 ア又はイのいずれかの条件に該 当にすること。		

様式 2（技術者専任工事）

兼 任 条 件 2 （ 該 当 に ○ ）	ア 発注機関が兼任を認めている。 イ 他の工事と兼任でない。 ウ 連絡員を配置できる。	(注)兼任条件 2 すべての条件に該当しなければ、兼任はできません。
----------------------------------	--	---

※連絡員については、決まり次第、速やかに監督職員に報告すること。

兼任工事位置図



注 1）地図等を使用し、契約工事及び兼任となる他の近接関連工事の箇所を図示するとともに、工事現場の相互の間隔を記載すること。なお、兼任可能な近接関連工事の箇所は、相互の間隔が 10 キロ程度までとする。

注 2）位置図は、別図で添付しても差し支えない。